

計画達成の暁には負担軽く

小野寺市議

ごみの資源化と減量促進質す



苦小牧6月定例市議会

で27日、日本共産党の小野寺幸恵議員は一般質問で、ごみの資源化と減量化の促進について

苦小牧市は、2010年に15年間の一般廃棄物処理基本計画を策定、ごみの有料化により大幅な減量と資源化を打ち出し、計画は来年、最終年度となります。

1人1日当たり家庭ごみの排出量は、13年7月の家庭ごみ有料化を契機に大幅に減量し、リパウンドすることなく550g前後で推移してきています。環境衛生部長は、

「有料化以降、排出量は横ばいで推移していることは、有料化の効果が持続しているも

のと一定の評価している」「コロナ禍の影響で増加したが、昨年からのコロナ前の水準に戻りつつあると捉えている。現在の水準においては、ごみ有料化で経験したような、さらなる大幅な減量については困難状況にあると考えている」と答えました。

小野寺議員は、計画の目標を達成するために残すところあと2年であり、どう取り組むかたまたました。環境衛生部長は、「さらなるごみ減量を達成するには市民1人ひとりの小さな取り組みの積み重ねが重要。今年から「ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦!」を展開しているところであり、イベントのなかで行う様々な啓発の取り組みを通じて、さらなるごみ減量とリサイクル推進につなげていきたい」と答弁しました。

小野寺議員は、一人暮らしの高齢女性は5人で間に合うのに不安で10人使うという声を紹介し、市民の有料指定袋の利用に関わり負担軽減について、1袋11円にすることを提案しました。環境衛生部長は「バランスが崩れる」と思っているとのべたのに対し、

小野寺議員は検討課題にあげてほしいと要望しました。

事務系のゴミの現状と対策について、18年に1万部作成した事務系ガイドブックは2700事業者に郵送配布し、出前講座等で活用したが現在在庫が5300部あることが明らかにされました。環境衛生部長は、収集事業者等

支援学校児童の送迎改善を

富岡市議

車いす通学に保護者の負担軽減求める



6月定例市議会の一般質問で26日、日本共産党の富岡隆議員は、障がいのある児童生徒の通学についてたまたました。

肢体不自由児が通学する拠点校となっている苦小牧西小学校に車いす通学している児童は3人で、全員がスクールバスを利用。道立苦小牧支援学校の全児童数は78人で、

スクールバス利用が63人。車いすの児童は4人で、うち保護者による送迎は3人となっています。

富岡議員は、障がい児を育てている母親から、自宅から学校まで送迎してもらえないかという切実な声が寄せられ

生業と暮らし守るために

インボイス
実施中止を
日本共産党

の関係者にもお願いしながら積極的に配布したいと回答しました。

ていると紹介し、「悲願の学校だが、障がい児のケアの負担が母親に集中している問題もあり、送迎について改善してほしい」と求めました。

教育部長は、「保護者が送迎される場合には、苦勞や負担があることは理解している。支援学校に在籍する児童生徒の通学方法は学校と保護者が教育相談を経て決めてきている。道とも情報交換しながら、保護者の負担を軽減するには何ができるか、考えていきたい」と答えました。

ほんの紹介

◆ストップ大軍拡 憲法を

かし、生活をまもる 山田敬男・杉井静子編著(学習の友社)990円(税込) アメリ

リカのいいなりにならない外交・政治をめざし、9条改憲の危機に反対する運動のための最良のテキストです。



汚染水海洋放出
許さない

国会かけある記 いわぶち友で

東京電力福島第一原発事故により発生した汚染水の処理をめぐって緊迫した状況です。海洋放出の設備が完成し、4日にはIAEA(国際原子力機関)の事務局長が来日、海洋放出にかかる審査結果を公表しました。しかし、IAEAの報告をお墨付きのようにして、だから海洋放出していいのだということにはなりません。

政府は福島県の漁業者と「関係者の理解なしにはいかなる処分もしない」と約束しています。漁業者をはじめ放出に反対する声はあがり続け、その声は福島にと

どまりません。6月には道漁連会長が経産大臣に会い、「海洋放出が決定された場合、道産水産物への新たな風評被害が生じることを漁業者は危惧している」と、海洋放出の中止を求めました。反対の声は全国にも、海外にも広がっています。



原発被害東京訴訟結審報告集会で(6月20日)

岩淵友(いわぶち・とも) 日本共産党参議院議員

「健康保険証廃止の中止を求め、マイナンバーカード取得の強制に反対します」署名に「ご協力を。」